



ダイジェスト版

第4次

# 伊豆市 地域福祉 活動計画

令和4年(2022)度～令和8年(2026)度



だれもが安心して暮らせる 地域福祉づくり



社会福祉法人 伊豆市社会福祉協議会

## あいさつ



人口減少や少子高齢化が進む中で新型コロナウイルス感染症による社会生活の混乱などで地域福祉のありかたを考え直す必要に迫られていると感じます。

それぞれの地域差はあるものの伊豆市としての現状を考慮し実現可能な計画を策定する事といたしました。

共に生きる豊かな地域社会を目指し自助（住民一人ひとりの努力）・共助（住民同士の相互扶助）・公助（公的な制度）をうまく連携させ地域の絆を大切に自分自体「個人」が地域とのつながりを意識しおたがいに助けあい協力しあって自立した生活を送る努力をしなければなりません。

このような考えのもと伊豆市社会福祉協議会は第4次地域福祉活動計画を伊豆市地域福祉計画と連携し作成いたしました。

第3次地域福祉活動計画の評価をふまえ「だれもが安心して暮らせる地域福祉づくり」を引き続き基本理念として、「福祉の人づくり」「共生のまちづくり」「安心できる環境づくり」を基本目標として更なる地域福祉の向上を目指していきます。

地域住民、社会福祉関係各位には第4次地域福祉活動計画の趣旨をご理解いただき今後ともご支援、ご協力頂けますようお願い致します。

最後になりましたが本計画の策定にあたり住民意識調査にご協力頂いた皆さま、福祉関係者の皆さまそして策定委員会の皆さま、伊豆市当局に心から感謝申し上げます。

社会福祉法人 伊豆市社会福祉協議会 会長 飯田 正志

### 地域福祉活動計画の趣旨

少子高齢化や核家族化の急速な進行、ライフスタイルや価値観の多様化などにより、血縁・地縁といったつながりが希薄化し、地域や家族を取り巻く環境が大きく変化しています。

誰もが住み慣れた地域の中で、安心して暮らせる地域を目指して、地域住民が直面する様々な生活課題・地域課題を解決するために住民のみなさまと協働し、子どもから高齢者まですべての人々が支えあい、一人ひとりが心豊かに暮らせるような仕組みをつくっていく必要があります。この取組みを計画的に進めていくために、地域福祉活動計画を策定します。

### 第4次 伊豆市地域福祉活動計画について

社会福祉協議会では、これまで積み上げてきた地域福祉活動の成果と課題、そして、社会情勢の変化と新たな生活諸問題に対応するために「第4次地域福祉活動計画」を策定し、地域で暮らす住民のより一層充実した暮らしやすいまちづくりを進めていきたいと考えています。

地域福祉を推進する上で市における地域福祉施策の基本的な方向性を示す計画が地域福祉計画であり、地域住民が直面する様々な生活課題・地域課題を、その地域に暮らす住民自らが理解・共有するとともに、住民同士が自主的・主体的に解決していく活動を推進し、社会福祉協議会の行動のあり方を定める計画が地域福祉活動計画といえます。

伊豆市社会福祉協議会では、伊豆市が策定する「第4次地域福祉計画」と連携をとりこの計画を作成いたしました。

# 伊豆市地域福祉活動計画

令和4年(2022)度～令和8年(2026)度



3つの「基本目標」、  
13の「基本施策」をかけた、  
具体的事業を推進していきます。



## 基本理念

## 基本目標

## 基本施策

## 具体的事業

だれもが安心して暮らせる  
地域福祉づくり

### 1 福祉の ひとづくり

- ① 福祉サービスを担う人材の育成
- ② 学校による福祉教育の推進
- ③ 地域福祉への関心や理解の促進
- ④ ボランティア活動支援



- ① 高校生福祉教育事業
- ② 小中学生福祉教育事業
- ③ 会員組織の強化
- ④ 赤い羽根共同募金運動の推進
- ⑤ 住民意識調査の実施
- ⑥ 地域福祉活動計画の管理
- ⑦ ボランティアセンター事業



### 2 共生の まちづくり

- ⑤ 地域で支え合うネットワーク(しくみ)づくり
- ⑥ 地域でふれあう機会づくり



- ⑧ おたがいさまサービス
- ⑨ 生活支援コーディネーター事業
- ⑩ 赤ちゃん訪問事業
- ⑪ 子育て支援事業
- ⑫ チャイルドシート貸与事業
- ⑬ チャイルドシート補助金交付事業
- ⑭ ふれあいサロン
- ⑮ ふれあい食事サービス



### 3 安心できる 環境づくり

- ⑦ 重層的支援体制の整備
- ⑧ 福祉サービスの情報発信体制づくり
- ⑨ 市民の生きがいと健康づくり
- ⑩ 地域住民を結びつける取組み推進
- ⑪ 生活に課題を抱えた方が安心して暮らせる支援体制の整備
- ⑫ 防災・防犯体制の推進
- ⑬ 生活環境のバリアフリー化



- ⑯ 福祉相談事業
- ⑰ 広報紙「はーとtoハート」の発行
- ⑱ ホームページの管理
- ⑲ 社会福祉大会
- ⑳ 地域福祉委員会事業
- ㉑ 資金貸付事業
- ㉒ 日常生活自立支援事業
- ㉓ 生活困窮者自立支援事業
- ㉔ 法人後見事業
- ㉕ 災害ボランティア事業
- ㉖ 移動サービス(車イス貸与)事業



## 基本目標 ①

# 福祉の ひとづくり



地域福祉・地域活動の必要性が高まることと反比例するように、高齢化や社会環境が変遷したことで地域活動に参加・協力する人材や担い手が不足しています。しかし地域福祉を推進していく上では、活動を担う人材の育成・確保は不可欠です。

幼少期から福祉を身近なこととして考える・理解する・行動する機会を持ち、ともに支えあう心を育ていけるよう、福祉教育の充実を図ります。

また、ボランティア活動をはじめとする地域福祉活動の担い手や地域づくりをリードしていく人材の発掘・育成に向けて地域課題やニーズに合ったボランティア活動を推進します。住民の地域福祉への関心や理解の促進を図るため、自分のまちや自分の地域を考えるきっかけづくりを推進していきます。

## 基本目標 ②

# 共生の まちづくり



支えあい・助けあうことが地域において大きな原動力となっている一方で、近年、地域のつながりの希薄化が深刻な問題となっています。

地域住民が抱える様々な問題を解決していくためには、住み慣れた地域の中に気軽に集まり、気軽に話し合える場所があることも、安心して暮らせるまちづくりを推進する上で重要なものになります。おたがいを理解しあい、支えあう仕組みづくりを強化し、住民の支えあいや地域のつながりの充実を目指していきます。

## 基本目標 ③

# 安心できる 環境づくり



社会的孤立、生活困窮など地域における様々な生活課題は多様化・複雑化しています。身近な相談窓口として適切な支援を行うとともに、関係機関との連携により相談体制の整備をします。

また、必要な情報が入手できるよう情報発信を強化していくと同時に、地域住民の協働を目指した取組みを強化します。加えて、災害時・緊急時はもとより地域で誰もが安全に、安心して生活できるよう平時から住民同士が助けあえるような環境づくりや地域の現状や課題に基づいた新たな取組みを推進します。



だれもが住み慣れた地域の中で、安心して暮らせる地域を目指して、地域住民が直面する様々な生活課題・地域課題を解決するために、住民相互の理解と協力のもと、関係機関等と連携を図り、様々な取組みを進めていきます。

地域福祉活動計画は、市の地域福祉計画と連携して、伊豆市の地域福祉の推進を図ります。



福祉のひとづくり・共生のまちづくり・安心できる環境づくり



## 伊豆市地域福祉活動計画

発行／編集 社会福祉法人 伊豆市社会福祉協議会

〒410-2505 伊豆市八幡 33-1 電話：0558-83-3013 FAX：0558-75-7200

<http://izushakyo.com>

(市外局番：0558)

- 修善寺支所 〒410-2414 伊豆市本立野531番地の1 TEL.72-8508 / FAX.74-2374
- 土肥支所 〒410-3302 伊豆市土肥670番地の2 TEL.98-0294 / FAX.98-0296
- 天城湯ヶ島支所 〒410-3206 伊豆市湯ヶ島161番地の1 TEL.85-1199 / FAX.85-2350

< 介護事業所 >

(市外局番：0558)

- 伊豆市社協訪問介護事業所 〒410-2414 伊豆市本立野531番地の1 TEL.74-2373
- ふれあい居宅介護支援事業所 〒410-2505 伊豆市八幡33番地の1 TEL.83-4565